

文化表現学科
観光実務士課程

2023 年 4 月 1 日 更新

科 目 名	観光学総論		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	かんざき こういち 神 崎 公 一
ナンバリングコード	TOS3211		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	観光は重要産業として脚光を浴びている。関連業種も多く、雇用も生まれ、経済効果が大きい、少子高齢化の中で観光を起爆剤にして地域を盛り上げたいなどの狙いもある。観光の歴史、宿泊業や交通、旅行会社などの現状と課題、関連業界がどのような人材を求めているかなどを学ぶ。							
到 達 目 標	1. 観光全般について、その歴史、経済とのかかわりなどを総合的に説明できる。 2. 観光に関連する産業の構造について総合的、多面的に理解し、説明できる。 3. 日本の観光に不可欠のインバウンドへの取り組みについて、語ることができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1.2.4）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション、講義の進め方の説明	予習	シラバスを読んでおくこと			
				復習	授業の狙いと意義についてまとめる			
	第2回	内容	観光とは何か。観光が重視される背景は何か	予習	なぜ、観光が重視されるのか調べておく			
				復習	授業内容を整理し、観光の役割をまとめる			
	第3回	内容	日本の観光の歴史。お伊勢参りから一人旅まで	予習	江戸時代からの観光の歴史を調べておく			
				復習	近年の温泉ブームを含む観光の歴史をまとめる			
	第4回	内容	観光と経済 産業としての観光業とは	予習	産業界における観光業について調べておく			
				復習	観光と他産業との比較などをまとめる			
	第5回	内容	観光における日本の強みとは何か	予習	おもてなし文化など日本の強みを調べておく			
				復習	日本の観光の強くするにはをまとめる			
	第6回	内容	外国における観光の位置付け。なぜ観光を重視するのか	予習	フランスなど観光大国について調べておく			
				復習	授業に基づき海外の観光業の現状をまとめる			
	第7回	内容	観光産業① 宿泊業の強みと課題	予習	コロナ禍対応を含め宿泊業について調べておく			
				復習	宿泊業の現状と課題をまとめる			
	第8回	内容	観光産業② 鉄道、航空。旅行会社などの現状と課題	予習	交通、旅行会社について調べておく			
				復習	交通、旅行会社の課題をまとめる			
	第9回	内容	観光産業③ テーマパークと遊園地	予習	テーマパークと遊園地の現状を調べておく			
				復習	TDLがなぜ人気なのかなどを考えてみる			
	第10回	内容	コロナ禍終息で期待されるインバウンド	予習	国、年ごとインバウンドの推移を調べておく			
				復習	インバウンドがなぜ重要かまとめる			
	第11回	内容	日本人と海外旅行	予習	日本人の海外旅行の変遷について調べておく			
				復習	日本人の海外旅行の今後についてまとめる			
	第12回	内容	政府が後押しする観光政策とは何か	予習	政府の観光政策と観光庁について調べておく			
				復習	観光政策が与える影響についてまとめる			
	第13回	内容	地方を元気にする観光。集客に優れたアニメ聖地巡り	予習	自治体の観光の取り組みを調べておく			
				復習	観光で成功している地域をまとめる			
	第14回	内容	観光と情報発信 マスコミからSNSまで	予習	観光にとって情報発信とは何かを調べておく			
				復習	情報発信に巧みな事例をまとめる			
	第15回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	発表するテーマを決め、資料を作っておく			
				復習	ディスカッションした内容をまとめる			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	Google Classroomを用いて課題のフィードバックを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（50%）、作品・発表（20%）、実技（ ）、授業態度【積極的参加】（30%）							
教科書	使用しない。必要に応じ資料配布をする							
参考文献	令和4年版 観光白書 観光庁編。 ディズニールランドの秘密 有馬哲夫、新潮社。 よみうりランド70年史 よみうりランド・神崎公一編 中央公論事業出版社							
補足事項	予習、復習には観光地や地方自治体、外国の政府観光局などのウェブサイトを活用してください。							

科 目 名	観光地理学		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	かんざき こういち 神 崎 公 一	
ナソバ・リンク・コート*	TOS3221		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	日本と外国の観光地の地理を把握し、その特徴と観光地としての課題を総合的に理解できる授業とする。日本人が海外旅行をする場合、外国人観光客が日本旅行をする双方のケースで、交通・移動・宿泊などの現状と課題について学ぶ。								
到 達 目 標	1. 国内外の観光地の立地などを理解することで、地理的な知識を明らかにできる。 2. 観光地の歴史、地域とのつながり、文化などについて説明できる。 3. 観光・旅行業界で戦力となる人材を目指し、アピールできる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1. 2. 3）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション 観光地理学とは何か、	予習	シラバスを読んでおくこと				
				復習	授業の狙いと意義についてまとめる				
	第 2 回	内容	地域と観光の役割、	予習	交通の発展と観光の関係を調べておく				
				復習	地域にとっての観光の重要性をまとめる				
	第 3 回	内容	日本① 東京、大阪などの都市観光の魅力とは	予習	東京や大阪の観光地としての魅力を調べておく				
				復習	大都市の利便性と課題についてまとめる				
	第 4 回	内容	日本② 地方の観光地の特色、特に温泉地について	予習	地方の有名な観光地について調べておく				
				復習	遠隔地の観光地は不利か有利かをまとめる				
	第 5 回	内容	中国① 北京、上海など大都市の魅力とは	予習	中国の代表的な大都市について調べておく				
				復習	中国大都市の魅力についてまとめる				
	第 6 回	内容	中国② シルクロード、三国志の舞台など歴史的名所	予習	日本人に人気の観光地について調べておく				
				復習	日本とこれらの地域の関係をまとめる				
	第 7 回	内容	韓国、台湾などの観光地の特色	予習	各地域の代表的観光地について調べておく				
				復習	日本とこの地域の地理的関係をまとめる				
	第 8 回	内容	東南アジア タイ、ベトナム、マレーシアなど	予習	東南アジア各国の観光について調べておく				
				復習	日本とこの地域の地理的関係をまとめておく				
	第 9 回	内容	聖地（アニメなど）と称される観光地について	予習	アニメツーリズムについて調べておく				
				復習	全国のアニメの聖地についてまとめる				
	第 10 回	内容	アメリカ① 大都市 ニューヨーク、ロサンゼルスなど	予習	アメリカ東部と西部について調べておくこと				
				復習	日本とこの地域の地理的関係をまとめる				
	第 11 回	内容	アメリカ② 大自然、国立公園	予習	アメリカの自然について調べておくこと				
				復習	アメリカの国立公園の人気についてまとめる				
	第 12 回	内容	カナダ 環境重視のカナダの観光とは	予習	カナダの代表的な観光地について調べておく				
				復習	カナダと自然、都市についてまとめる				
	第 13 回	内容	ヨーロッパ各国の地理的特色と観光	予習	英仏独伊などの観光について調べておく				
				復習	日本とこの地域の関係をまとめる				
	第 14 回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	1－6 回の講義の発表資料を作成しておく				
				復習	ディスカッションした内容を整理しておく				
	第 15 回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	7－13 回の講義の発表資料を作成しておく				
				復習	ディスカッションした内容を整理しておく				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題のフィードバックを行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（50%）、作品・発表（20%）、実技（ ）、授業態度【積極的参加】（30%）							
教科書	使用しない。必要に応じて資料を配布する。								
参考文献	『令和 4 年版 観光白書』（観光庁編）								
補足事項	授業内容は必ず筆記してください。取り上げる地域ごとの地図帳を持参すること。ウェブサイトも利用すること。								

科 目 名	異文化コミュニケーション		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	しばた 柴田 かおる
ナンバリングコード	CUL3121		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	自分の常識が他人には通用しないことがあります。これは相手が誰であっても、その人物が育ってきた環境、文化、歴史などが異なることから生じる価値観の違いによるものです。このクラスでは、自分と違う価値観を持つ人々とのコミュニケーションを円滑に行うためには相手をより理解する力が身に付きます。							
到 達 目 標	1. 人種民族国籍年齢性別を問わず自分と違う文化の人々を理解し受け入れることができる。 2. 自分と価値観や考え方の違う人々に、自分の考えを伝えることができる。 3. 異文化の人々に自国の文化についての的確に説明できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1,2 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション 異文化とは何かについての考察	予習	シラバスを読んでくる			
				復習	異文化とは何かについて考えてみる			
	第2回	内容	身の回りで発見した異文化について考察する	予習	自分にとっての異文化について調べる			
				復習	異文化にいる人とのコミュニケーションについて考える			
	第3回	内容	食に見出す異文化についての考察1	予習	色の体験で異文化であると感じたことについてまとめてくる			
				復習	自分がある「食」について異文化であると感じる理由を考えてみる			
	第4回	内容	食に見出す異文化についての考察2	予習	自分にとって大切な食文化をどう説明するか考える			
				復習	自分が絶対に必要な食について、それを知らない人々に説明してみる			
	第5回	内容	日本国内で起きる異文化との摩擦について事例研究1	予習	身近なところで起きている異文化との摩擦について調べる			
				復習	異文化との摩擦が起きる原因を考える			
	第6回	内容	日本国内で起きる異文化との摩擦について事例研究2	予習	異文化に属する人々から見て、自分が当たり前と感じている文化はどう見られているか考えてくる			
				復習	自分が属する文化をどう説明すれば理解されるか考える			
	第7回	内容	贈り物について文化による違いを考察する	予習	自分が贈り物をするのはどういう時でどういう方法をとるのかまとめてくる			
				復習	文化による贈り物の違いを調べる			
	第8回	内容	危機対応の方法について各国の違いを考察	予習	ニュースを参考に、異文化の人々のパンデミックへの対応が自分とはどう違うのか気が付いたことを挙げてみる			
				復習	パンデミックに対して自分と異なる対応をする文化について調べる。			
	第9回	内容	海外で起きている異文化間摩擦について1	予習	海外で起きている異文化摩擦の事例で興味のあるものについて調べる			
				復習	海外で起きている異文化摩擦の原因について考察する			
	第10回	内容	海外で起きている異文化間摩擦について2	予習	海外で起きている異文化摩擦で理解できないものについて、なぜ理解できないのか考えてくる			
				復習	自分が理解できなかった海外の異文化摩擦の事例について調べる			
	第11回	内容	自分と異なる宗教観について考察する1	予習	日本人は宗教心がないという人がいるが、果たして本当にそうか考えてくる			
				復習	興味のある宗教について調べる			
	第12回	内容	自分と異なる宗教観について考察する2	予習	興味のある宗教について調べて発見したことをまとめてくる			
				復習	文化によってことなる宗教の位置づけを考察する			
	第13回	内容	異文化から来た人々と意思の疎通を図る	予習	異文化から来た人々に自分の考えを伝える方法を考えてくる			
				復習	異文化から来た人々を理解するのに大切なことを考える			
	第14回	内容	異文化から来た人々に日本について紹介する	予習	日本について自分は何を紹介できるのか考えてくる			
				復習	日本について自分が紹介したいことを調べてまとめる			
	第15回	内容	授業の総括と演習	予習	ニュースを題材にして、異文化で起きたことで理解困難なことを考えてくる			

				復習	ニュースを題材にして、異文化で起きたことで理解しづらかったことについてその背景を調べる。
	予習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	課題は授業中に発表してもらい、その場で感想や評価を伝えます。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：レポート・課題（ 80 %）、授業態度【 積極的に発表し、ディスカッションに参加、私語を慎む、ノートをとる 】（ 20 %）				
教科書	その都度資料配布/google classroom にて、参考サイトの告知				
参考文献	特になし				
補足事項	授業中の私語は控えてください。 身の回りで異文化を意識することがあったら、それを小まめにメモして授業で生かしてください 日本国内外のニュースで、理解できないことに接したとき、なぜ理解できないのかを考える習慣をつけてください 授業はディスカッション、発表を中心にして進めていきます。グループワークも行います。				

科 目 名	実用英語		単 位 数	2	授業時間数	1 5	担当教員	はやし たかこ 林 貴子	
ナソバ°リンク°コート°	TOS3212		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	本授業は、観光業界や一般企業等で英語力の判断基準として利用される TOEIC のスコアアップを目指す。 TOEIC の問題を解くことによって、英語の基礎力を高め、語彙・表現力の向上と英文法の確認を行う。 また、TOEIC 試験対策を通じ、社会に出た時に英語が使えるように、実用的な英語表現を身に着ける。								
到 達 目 標	１．英語の基礎力を身に着ける。（語彙を 3,000 語以上にする、基礎的な英文法を理解する、英語の日常会話やアナウンスが聞き取れる） ２．英語で日常生活における基本的なコミュニケーションをとることができる。 ３．どのような分野の英語の文章でも大意を理解することができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2, 3, 4 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス（TOEIC L&R Test について、授業の進め方や宿題、小テストについて）	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	TOEIC の試験概要について確認する				
	第 2 回	内容	Unit 1 Shopping (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 3 回	内容	Unit 1 Shopping (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「名詞」について学んだことを理解する				
	第 4 回	内容	Unit 2 Dining Out (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 5 回	内容	Unit 2 Dining Out (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「代名詞」について学んだことを理解する				
	第 6 回	内容	Unit 3 Daily Life (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 7 回	内容	Unit 3 Daily Life (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「形容詞」について学んだことを理解する				
	第 8 回	内容	Unit 4 Travel (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 9 回	内容	Unit 4 Travel (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「副詞」について学んだことを理解する				
	第 10 回	内容	Unit 5 Entertainment (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 11 回	内容	Unit 5 Entertainment (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「時制 1」について学んだことを理解する				
	第 12 回	内容	Unit 6 News & Media (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 13 回	内容	Unit 6 News & Media (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「時制 2」について学んだことを理解する				
	第 14 回	内容	Unit 7 Housing (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 15 回	内容	Unit 7 Housing (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「主語と動詞」について学んだことを理解する				
	予習に要する学習時間：概ね 9 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 9 0 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	毎回実施する英単語の小テストに対し採点・返却・解説を行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 授業内小テスト（7 0 %）、授業態度【積極的参加 】（3 0 %）							
教科書	『First Try for The TOEIC L&R Test』（Robert Hickling、金星堂）								
参考文献	なし（必要な際はプリントを配布する。）								
補足事項	毎回辞書（電子辞書・紙の辞書どちらでも可）を持参すること。スマートフォンを辞書として使用するのは不可。 成績評価に関して、学期中に TOEIC の受験を薦める。そのスコアにより成績を加点する場合がある。								

科 目 名	イベント・プランニング		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	かんざき こういち 神 崎 公 一	
ナンバリングコード	FAS3212		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	運動会や文化祭などの行事からオリンピック、サッカーW 杯といった国際大会、万博、音楽やアニメフェスなどイベント成功のカギは集客、収支、安全性などである。授業ではイベントの歴史を学ぶとともに、近年、景気回復の切り札として注目を浴びている観光を中心にイベントについて企画の立て方やPRの具体的手法などを学ぶ。								
到 達 目 標	1. イベント成功に手法について理解し、説明できる 2. 様々なイベントについて企画立案をして発表することができる 3. 観光関連のイベントについて理解し、説明できる								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2, 3 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション 講義の全体像の説明	予習	シラバスを読んでおくこと				
				復習	授業の狙いと意義について理解する				
	第 2 回	内容	イベント開催の狙いと種類、嵐のツアーから学ぶ	予習	イベントとは何か、種類について調べておく				
				復習	嵐のツアーの効果について理解する				
	第 3 回	内容	観光振興とイベント。アニメ聖地、B級グルメなどの背景	予習	観光振興とイベントの関係を調べておく				
				復習	具体的事例をもとに観光イベントを理解する				
	第 4 回	内容	観光業の実態。集客の切り札としてのイベント	予習	観光業の実態について調べておく				
				復習	観光関連イベントの重要性を理解する				
	第 5 回	内容	ファンツーリズムとイベント 嵐、韓流ドラマの影響	予習	ファンツーリズムについて調べておく				
				復習	ファンツーリズムの実態を理解する				
	第 6 回	内容	ドラマや映画のロケ誘致で集客プランニング	予習	ロケ誘致について調べおく				
				復習	ロケ誘致がいかに効果であるかを理解する				
	第 7 回	内容	経済効果が大きい五輪、万博、国際会議の誘致	予習	国際的イベントについて調べておく				
				復習	国際的イベントの効果について理解する				
	第 8 回	内容	7 回までの授業をもとにしたプレゼンテーション	予習	授業をもとに、プレゼン資料を作っておく				
				復習	プレゼンをもとに問題点を検討する				
	第 9 回	内容	テーマパークや遊園地のイベント・プランニング	予習	レジャー施設のイベントについて調べておく				
				復習	レジャー施設のイベントの重要性を理解する				
	第 10 回	内容	地方の観光地、温泉地のイベントの成功例	予習	観光地、温泉地のイベントについて調べておく				
				復習	上記イベントの成功の理由を理解する				
	第 11 回	内容	インバウンド向けイベント・プランニング	予習	インバウンド向けのイベントを調べておく				
				復習	上記イベントの成功の理由を理解する				
	第 12 回	内容	観光列車、レストラン列車などのイベント企画	予習	交通機関のイベントについて調べておく				
				復習	交通機関のイベント企画を理解する				
	第 13 回	内容	デジタルによるイベント効果、オンラインイベント	予習	オンラインイベントなどについて調べておく				
				復習	オンラインイベントの効果と課題を理解する				
	第 14 回	内容	イベントの課題、集客失敗と地元への影響（ゴミ、渋滞）	予習	イベントの課題について調べておく				
				復習	課題解決について考え、理解する				
	第 15 回	内容	14 回までの授業をもとにしたプレゼンテーション	予習	授業をもとに、プレゼン資料を作っておく				
				復習	プレゼンをもとに問題点を検討する				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	授業についての課題短文を授業終了後の 5 日以内にグーグルクラスルームに提出してもらい、授業の振り返りを行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 30 %）、作品・発表（ 30 %）、授業態度【積極的発言、出席状況】（ 40 %）							
教科書	特になし。必要に応じてプリントを配布する								
参考文献	『ディズニーランドの秘密』有馬哲夫、新潮社。 『よみうりランド 70 年史』よみうりランド・神崎公一編 中央公論事業出版社 『会いたい気持ちが動かすファンツーリズム 韓流ブームが示唆したもの、嵐ファンに教わったこと』幸田麻里子、臺順子、流経大出版会								
補足事項	プレゼンテーションは希望者のみ行い意見交換をする。課題作文は文章力アップに役立つことを理解し、積極的に提出してください。								

科 目 名	観 光 事 業 論			単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	かんざき こういち 神 崎 公 一
ナンバリングコード	TOS3217			授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	余暇の過ごし方の上位である旅行・観光。それを担う観光事業の成り立ち、課題、またインバウンド対策などを理解し、説明できるようにする。 旅行形態の変化（団体から個人へ）に観光事業はどのように対応しているかを学ぶ。								
到 達 目 標	1. 観光業の成り立ち、規模など、さらに課題と将来性を含め説明できるようにする。 2. これからの日本の観光に何が必要かについて、インバウンド対策を含め説明できるようにする。 3. 新型コロナウイルス感染症と観光業の対応などに関し、自分なりの意見を言えるようにする。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1. 2. 3）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーションとガイダンス。本講義の全体像	予習	シラバスを読み、講義の全体像を理解しておく				
				復習	自分なりの授業への取組をまとめる				
	第2回	内容	観光事業の歴史、規模、将来像	予習	観光事業とは何かを考えておく				
				復習	旅行会社、宿泊業の歴史などをまとめる				
	第3回	内容	一泊二食、日本の宿泊業の特色	予習	日本の宿泊業の特色を調べておく				
				復習	日本の旅館の課題をまとめる				
	第4回	内容	団体旅行から個人旅行への推移と旅行業界	予習	旅行形態の推移について調べておく				
				復習	個人旅行、ひとり旅の増加理由をまとめる				
	第5回	内容	若者の旅離れとシニアの余暇の使い方としての旅	予習	若者とシニアの旅について調べておく				
				復習	若者とシニアの旅の将来についてまとめる				
	第6回	内容	観光事業とデフレ 格安旅行は続くのか	予習	宿泊費や交通費の格安化について調べておく				
				復習	なぜ、格安旅行が増えたのかをまとめる				
	第7回	内容	くまモンなどゆるキャラ、B級グルメと観光業界	予習	ゆるキャラ、B級グルメについて調べておく				
				復習	集客にゆるキャラなどが果たす役割をまとめる				
	第8回	内容	観光事業と鉄道、航空業界。	予習	交通機関の観光重視の狙いを調べておく				
				復習	交通機関のこれからの経営戦略をまとめる				
	第9回	内容	観光事業と車、最寄り駅からの二次交通問題	予習	旅の目的地からの移動について調べておく				
				復習	二次交通がなぜ問題となるかをまとめる				
	第10回	内容	観光事業とインバウンド 富裕層対策	予習	インバウンドがなぜ重視されるかを調べておく				
				復習	富裕層対策の重要性をまとめておく				
	第11回	内容	観光事業と地方自治体の取り組み、GO TO トラベル	予習	コロナ禍での観光業界支援を調べておく				
				復習	GO TO トラベルの効果などをまとめる				
	第12回	内容	旅行のネット予約と旅行会社、キャンセル増問題	予習	ネット予約の現状を調べておく				
				復習	これからの観光業IT化についてまとめる				
	第13回	内容	観光事業と日本の休暇制度。GW、夏休みなどの休暇集中	予習	日本と欧米の休暇制度を調べておく				
				復習	観光にとって休暇の持つ意味をまとめる				
	第14回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	1―7回の講義から発表資料を作成しておく				
				復習	ディスカッションした内容をまとめる				
	第15回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	8―13回の講義から発表資料を作成しておく				
				復習	ディスカッションした内容をまとめる				
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。									
課題へのフィードバック	Google Classroomを用いて課題のフィードバックを行う。								
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（ 50 ）、作品・発表（ 20%）、実技（ ）、授業態度【積極的参加】（30%）								
教科書	使用しない。必要に応じ、資料を配布する。								
参考文献	『新・観光立国論』（デービッド・アトキンソン、東洋経済新報社） 『令和4年版観光白書』（観光庁編）								
補足事項	授業内容は必ず筆記してください。事前に次回講義の概要を知らせるので、ウェブなどを活用して調べてきてください。								

科 目 名	環境ツーリズム論			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	かんざき こういち 神 崎 公 一	
ナバリングコード	TOS3223			授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	観光業が持続的に発展するには自然との調和が欠かせない。地球温暖化や海洋汚染などを防ぎながら観光振興を図るための環境ツーリズムについて学ぶ。成功事例や問題点、観光と環境の両立は可能かを考える授業とする。									
到 達 目 標	1. 近年、注目されている環境ツーリズムの重要性を理解できるようにする。 2. 環境ツーリズムの実践例を知ることによって、課題などを説明できるようにする。 3. 観光と環境の両立が可能かについて、意見をまとめられる。									
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1. 2. 3 ）									
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーションと授業の全体像	予習	シラバスを読み、授業の意義を考えること					
				復習	自分なりに何を学ぶかをまとめる					
	第 2 回	内容	環境ツーリズムとは何か。なぜ今、注目されるのか	予習	環境ツーリズムが注目される理由を調べる					
				復習	地球温暖化など観光の関連性をまとめる					
	第 3 回	内容	観光＝経済と環境は両立するのか	予習	経済優先＝儲けと環境の関係を調べておく					
				復習	経済と環境の両立事例をまとめる					
	第 4 回	内容	環境ツーリズムと日本エコツーリズム協会の活動	予習	日本エコツーリズム協会の活動を調べる					
				復習	同協会加盟の団体の活動についてまとめる					
	第 5 回	内容	環境ツーリズムの実践例① 里山・村落	予習	埼玉県飯能の環境ツーリズムについて調べる					
				復習	全国の環境ツーリズムについてまとめる					
	第 6 回	内容	環境ツーリズムの実践例② 温泉	予習	岐阜県下呂温泉の環境ツーリズムに関し調べる					
				復習	温泉地の環境ツーリズムについてまとめる					
	第 7 回	内容	環境ツーリズムの実践例③ 世界遺産	予習	岩見銀山、佐渡などの環境と観光を調べておく					
				復習	世界遺産と環境問題についてまとめる					
	第 8 回	内容	インバウンドと環境ツーリズム	予習	外国人の環境問題の関心の高さを調べておく					
				復習	外国人対象の環境ツーリズムをまとめる					
	第 9 回	内容	海外の環境ツーリズム① カナダ	予習	カナダの観光と環境の関連を調べておく					
				復習	カナダ国民と環境、観光の関係をまとめる					
	第 10 回	内容	海外の環境ツーリズム② ハワイ	予習	観光の島、ハワイについて調べておく					
				復習	ハワイ観光の環境対策をまとめる					
	第 11 回	内容	旅行業界と環境ツーリズム	予習	環境ツーリズムと旅行業界の関係を調べておく					
				復習	環境ツーリズムが不可欠な理由をまとめる					
	第 12 回	内容	企業が取り組む環境ツーリズム	予習	JAL, JR などの環境への取り組みを調べておく					
				復習	観光産業が環境に配慮する理由をまとめておく					
	第 13 回	内容	旅行者自身が行う環境に優しい旅とは	予習	環境に優しい旅はどのようなものか調べておく					
				復習	環境に優しい旅の具体的事例をまとめておく					
	第 14 回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	1－7 回に講義について発表資料を作っておく					
				復習	ディスカッションした内容を整理する					
	第 15 回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	8－13 回の講義について発表資料を作っておく					
				復習	ディスカッションした内容を整理する					
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題のフィードバックを行う。								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（ 50 ）、作品・発表（ 20 ）、実技（ ）、授業態度【積極的参加】（30%）								
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 使用しない。必要に応じ資料を配布する。									
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『観光の力』（半藤将代、日経ナショナルジオグラフィック社） 『日本エコツアー・ガイドブック』（海津ゆりえ、岩波書店） 『エコツーリズムの世紀へ』（エコツーリズム推進協議会）									
補足事項	授業内容は必ずノートに筆記すること。事前に次回の授業内容を伝えます。日本エコツーリズム協会のウェブなどを参考にする。									

科 目 名	エアライン実務		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	ひらい みちこ 平井 美知子
ナンバリングコード	TOS3216		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()							
授 業 の 内 容	エアラインで働くキャビンアテンダント及び地上スタッフの仕事への取り組み方を学びます。接客業はじめとする仕事の現場で求められる、知識・適正と能力（美しい言葉づかい・立ち居振る舞い・おもてなしの心）を学び実践できるスキルを身につけます。グローバル社会に対応できる、物事を柔軟に対処し、自ら考え、行動できる、ホスピタリティマインドにあふれた人材を育てます。							
到 達 目 標	1. エアライン・輸送業界で働く様々な方々の仕事を理解している 2. グローバル社会に適応できる、考え方や行動力・ホスピタリティマインドを日々の生活の中で発揮できる 3. 日本人としての素養である、美しい日本語・立ち居振る舞い・おもてなしの心を身につけ実践できる							
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2, 3)							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション ・ CA の仕事とその魅力について CA 仕事研究	予習	シラバスを読み、授業概要、評価方法等理解しておく			
				復習	この科目を通して習得・体得することを理解する			
	第 2 回	内容	エアラインのホスピタリティを学ぶ ・ 日常のマナーとホスピタリティ	予習	課題シート（マナーの必要性・重要性を自分の言葉でまとめる）			
				復習	授業用ノートを復習する			
	第 3 回	内容	エアラインのホスピタリティを学ぶ ・ 日常生活のマナーとホスピタリティ	予習	課題シートに取り組み（. 日常生活でマナーを実践しなくなった理由を内省する）			
				復習	授業用ノートを復習する			
	第 4 回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成① 自己理解と社会に求められる能力理解	予習	課題シート（日ごろ経験している「サービス」を考える）			
				復習	日々の行動から自己理解を深める			
	第 5 回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成② 自己表現力の養成① 身だしなみ・立ち居振る舞い	予習	課題シート（日ごろ気を付けている身だしなみのポイントについてまとめる）			
				復習	体得した身だしなみ・立ち居振る舞いを実行する			
	第 6 回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成③ 自己表現力の養成②好感を与える言葉づかい・表現法	予習	課題シート（言葉遣いに関して不安な点を、具体的に理由とともにまとめる）			
				復習	習得した好印象の接客対応を身につける			
	第 7 回	内容	「ホスピタリティ」の歴史と文化 ・ 西洋と東洋のホスピタリティ文化・日本のおもてなし文化	予習	課題シート（. 「サービス」と「ホスピタリティ」の言葉の意味を調べる、同じ語源の言葉を調べる）			
				復習	おもてなしとは、日本と海外の違いを理解する			
	第 8 回	内容	組織と顧客とホスピタリティ ・ 顧客満足（Customer Satisfaction）の重要性	予習	課題シート（「顧客満足 CS」に必要な要素について調べる）			
				復習	日常の中で、おもてなしの心を実践する			
	第 9 回	内容	ホスピタリティコミュニケーションの養成① ・ 機内サービスを実践する お食事サービス	予習	課題シート（お客様対応にふさわしい身だしなみの整えを振り返る）			
				復習	お客様対応の実践から、日々の目配りを意識する			
	第 10 回	内容	ホスピタリティコミュニケーションの養成 ② ・ グランドホステスの仕事研究	予習	課題シート（エアラインの様々な仕事について調べる）			
				復習	授業から学んだエアラインのホスピタリティを実践する			
	第 11 回	内容	チームの中でホスピタリティを発揮する ・ チームワークの重要性・必要な要素・チームビルディング	予習	課題シート（身近な場面でのチームワーク発揮経験をまとめる）			
				復習	習得したチームビルディングのスキルを実施する			
	第 12 回	内容	エアライン適正開発 ・ CA の仕事研究	予習	課題シート（CA の仕事について調べてくる）			
				復習	授業から学んだエアラインのホスピタリティを実践する			
	第 13 回	内容	ホスピタリティ・コミュニケーション ・ ホスピタリティ溢れる自分づくり	予習	課題シート（日常のホスピタリティ行動を振り返りまとめておく）			
				復習	日々、ポジティブシンキングを実践する			
	第 14 回	内容	エアライン適正開発 ② ・ 機内アナウンス実践（演習）	予習	課題シート（早口シート滑舌シートを使い、アナウンス練習に取り組む）			
				復習	習得した好印象の接客対応を身につける			
	第 15 回	内容	エアライン適正開発 ③ ・ 好印象な接客対応を体得する（演習）	予習	（習得・体得したサービススキルを復習する）			
				復習	習得した好印象の接客対応を身につける			
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題シートに対してコメントを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（60%）、レポート・課題（20%）、実技（10%）、授業態度【自主性】（10%）							
教科書	なし							

参考文献	『月刊 エアステージ』（イカロス出版）
補足事項	授業で学んだことを日々復習し、自己表現力やマナー、コミュニケーションスキルを身につけられるよう取り組んでほしい。

科 目 名	エアライン英会話		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	ひらい みちこ 平井 美知子	
ナンバリングコード	TOS3213		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()								
授 業 の 内 容	グローバル社会のエアラインには必須の英語力を身につけます。 エアライン業務を想定し、ホスピタリティマインド溢れるお客様対応のフレーズを演習します。 簡単な英語インタビューの応答を練習し、英語での自己表現ができるようになります。								
到 達 目 標	１． 英語での自己表現が、感情豊かにできる ２． 英語での質疑応答ができる ３． エアライン業務の現場で、英語のコミュニケーションが自主的にできる								
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2, 3)								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション Airline Terms ① Public Announcements I (ワーク・ロールプレイング)	予習	シラバスを読み、授業概要、評価方法等理解しておく				
				復習	お客様へのアナウンスを練習				
	第 2 回	内容	Flight Operations① Role playing Finding Seat (ペア・ワーク)	予習	前回の機内用語を覚え、アナウンスの復習				
				復習	お客様との会話を覚える、単語を覚える				
	第 3 回	内容	Flight Operations② Role playing Baggage in the aisle (ペア・ワーク)	予習	前回学習した用語と意味を覚える				
				復習	お客様との会話を覚える、英単語を覚える				
	第 4 回	内容	Aircraft Role playing Fasten seat belt (ペア・ワーク)	予習	飛行機の種類と言い方について調べる				
				復習	お客様とのコミュニケーションを練習する				
	第 5 回	内容	Before takeoff service (ペア・ワーク)	予習	1～3 回で覚えた用語を復習してくる				
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える				
	第 6 回	内容	Welcome Announcement (全体発表)	予習	前回覚えた用語を復習してくる				
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える				
	第 7 回	内容	Role playing Liquor&Meal Service (ペア・ワーク)	予習	機内でサービスされる飲み物の種類を研究する				
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える				
	第 8 回	内容	Role playing Clear off the table (ペア・ワーク)	予習	前回までの機内用語を復習してくる				
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える				
	第 9 回	内容	Role playing Special Meal (ペア・ワーク)	予習	機内でサービスされる特別食を研究する				
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える				
	第 10 回	内容	Role playing Inflight Entertainment (ペア・ワーク)	予習	機内にはどのようなサービスがあるか研究する				
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える				
	第 11 回	内容	Role playing Children's Entertainment (ペア・ワーク)	予習	子供の遊び用品を英語で覚える				
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える				
	第 12 回	内容	Role playing Route Information (ペア・ワーク)	予習	世界の有名建造物を英語で覚える				
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える				
	第 13 回	内容	Inflight Sales (ペア・ワーク)	予習	機内販売商品の知識を英語で覚える				
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える				
	第 14 回	内容	Arrival Information (ペア・ワーク)	予習	日本の地域を英語で言えるようにする				
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える				
	第 15 回	内容	Farewell announcement (全体発表)	予習	日本の紹介を英語でできるようにする				
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える				
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	課題シートに対してコメントを行う							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施 (○) する／ () しない 成績評価の方法： 筆記試験 (60%)、実技 (20%)、授業態度【自主性 】 (20%)							
教科書	なし								
参考文献	航空業界を紹介した雑誌 (エアステージ等)								
補足事項	授業で学んだことを日々復習し、英語で表現することに取り組んでほしい。配布シートは必ずファイルをして、テキストファイルを作成する								

科 目 名	観光英会話		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	はやし たかこ 林 貴子
ナバリングコード	TOS3212		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	本授業では、海外からの顧客に英語で対応する際の基本的な表現や説明の仕方を目的とした英会話を学ぶ。 近年のグローバル化の進展に伴い、英語による適切でスムーズなコミュニケーションを図ることが必要とされることを鑑み、外国人客と日本人スタッフの二者間の会話を中心として、ロールプレイング等による練習を行う。							
到 達 目 標	１．外国人観光客に英語で必要な情報を提供することができる。 ２．観光ビジネスや接客に関する基本的な英会話を身につけている。 ３．外国人に英語で日本の文化や伝統を紹介することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ １，２，４ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス（授業概要説明、成績評価説明）	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	授業の進め方や成績評価について確認する			
	第 2 回	内容	Unit 1. Transportation	予習	教科書の交通に関する語の意味と I C カードについての説明文について調べておく			
				復習	交通についての会話文を音読する			
	第 3 回	内容	Unit 2. At a Check-in Counter (hotel)	予習	教科書のホテルでのチェックインに関する単語の意味を調べる			
				復習	ホテルでのチェックインの会話を音読する			
	第 4 回	内容	Unit 3. Facilities and Services (hotel)	予習	ホテルの施設に関する単語の意味を調べる			
				復習	ホテルの施設に関する会話を音読する			
	第 5 回	内容	Unit 4. Giving Directions	予習	道案内に関する単語の意味を調べる			
				復習	道案内の会話を音読する			
	第 6 回	内容	Unit 5. Recommending a Trip	予習	海外からのお客様に観光スポットを勧める際に使う単語の意味を調べる			
				復習	観光案内に関する会話を音読する			
	第 7 回	内容	Unit 6. Dining in Japan ①	予習	日本の食事に関する単語の意味を調べる			
				復習	日本の食事の案内をする会話を音読する			
	第 8 回	内容	Unit 7. Dining in Japan ②	予習	日本料理を説明する際に使う語句の意味を調べる			
				復習	日本料理の説明をする会話を音読する			
	第 9 回	内容	Unit 8. Arranging a Tour	予習	海外からのお客様に国内旅行をアレンジする際の単語の意味を調べる			
				復習	海外からのお客様に国内旅行をアレンジする会話を音読する			
	第 10 回	内容	Unit 9. Staying at a Ryokan	予習	旅館でのマナーを説明する際に使う語句の意味を調べる			
				復習	旅館でのマナーを説明する文章を音読する			
	第 11 回	内容	Unit 10. Culture Experience in Japan ①	予習	日本の伝統文化を紹介する際に使う単語の意味を調べる			
				復習	日本の伝統文化を説明する会話を音読する			
	第 12 回	内容	Unit 11. Culture Experience in Japan ②	予習	日本の年間行事を紹介する際に使う単語を調べる			
				復習	日本の年間行事を説明する会話を音読する			
	第 13 回	内容	Unit 12. Japanese Souvenirs	予習	日本のお土産の紹介をする際に使う単語の意味を調べる			
				復習	日本のお土産を説明する会話を音読する			
	第 14 回	内容	Unit 13. Dealing with Health Problems and Emergencies	予習	旅行中の病気について説明する際の単語の意味を調べる			
				復習	お客様が病気をされた際の会話を音読する			
	第 15 回	内容	Unit 14. Dealing with Complaints and Accidents	予習	クレームや問い合わせへの対応で使う単語の意味を調べる			
				復習	クレームに対応する際の会話を音読する			
予習に要する学習時間：概ね 4 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 1 5 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	発言の際、発音や英語の表現等についてのフィードバックを行う。また授業内に実施する小テストの採点・評価をして返却する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：授業内小テスト（ 6 0 %）、授業内発表（ 2 0 %）、授業態度【 積極的参加 】（ 2 0 %）							
教科書	『Hospitality on the Scene』（上杉恵美・阿部佳・渭東史江・神末武彦・Jacob Schere、金星堂）							
参考文献	なし（必要な際はプリントを配布する。）							

補足事項	毎回辞書（電子辞書・紙の辞書可）を持参すること。スマートフォンを辞書として使用するのは不可。会話のクラスなので、積極的に英語を話すこと。
------	--

科 目 名	文化を訪ねる		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明 芳
ナンバリングコード	CUL3221		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	京都とその文化について知り得たことを基にして学びたいテーマを設定し、実際の行動計画を作成し、12月の初旬に2泊3日の日程で京都を訪ねる。							
到 達 目 標	1．各自で旅行中の行動計画が立て、その行動計画に基づいて円滑に行動できる 2．設定したテーマを中心に文化についての学びを得て実生活に生かすことができる 3．旅行の成果をパワーポイントなどで発信できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1、2 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	授業の始まりにあたって～旅行の概要と留意点	予習	京都に関する資料を用意する			
				復習	メモや書き込などを整理しておく			
	第2回	内容	テーマの設定	予習	テーマの候補をいくつか用意する			
				復習	設定したテーマについて整理しておく			
	第3回	内容	行動計画書の作成と提出	予習	行動計画の原案を用意する			
				復習	行動計画書の細部を詰めて完成する			
	第4回	内容	京都を歩く（ボランティアの清掃活動）	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第5回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅠ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第6回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅠ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第7回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅠ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第8回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅡ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第9回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅡ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第10回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅡ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第11回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅡ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第12回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅢ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第13回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅢ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第14回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅢ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第15回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅢ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
予習に要する学習時間：概ね20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題提出時に口頭で伝える							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（ 50 ）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【行動計画の作成】（ 50 ）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 必要に応じて指示する							
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 必要に応じて指示する							
補足事項	京都を歩くⅠ～Ⅲは3日間の集中講義							

科 目 名	インターンシップ		単 位 数	2	授業時間数	9 0	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明 芳
ナンバリングコード	CAE3221		授業形態	実習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	本実習では、社会人として必要なマナーやコミュニケーション能力の基本を理解して身につけ、また、実際の現場での実習を通して職業の実際を理解することを目指します。これらの学びや体験により、働くことの意味や責任をより豊かに考えることができ、将来の職業選択に寄与すると考えられる。							
到 達 目 標	1. 社会人として必要なマナーや作法の基礎を身につけている。 2. 社会人としてのコミュニケーション能力の基本が身についている。 3. 職業選択活動、就業における積極性を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（2,3,4）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	イントロダクション(インターンシップとは何か)	予習	インターンシップについて調べる。			
				復習	本実習の概要を理解する。			
	第 2 回	内容	基本的なマナー①(心構え、言葉遣い、身だしなみ等)	予習	実習での必要なマナーについて考える。			
				復習	各マナーを整理する。			
	第 3 回	内容	基本的なマナー②(電話のかけ方、受け方等)	予習	電話の応答について考える。			
				復習	電話応答について整理する。			
	第 4 回	内容	インターンシップ実習受入企業・団体の業種、職業の調査	予習	実習先を考える。			
				復習	実習先の情報をまとめる。			
	第 5 回	内容	書類の書き方、面接の受け方	予習	面接マナーについて考える。			
				復習	書類の書き方を復習する。			
	第 6 回	内容	実習先の決定と申し込み	予習	実習先へ申し込みを準備。			
				復習	実際に実習先への連絡を実施する。			
	第 7 回	内容	先輩から学ぶ(先輩による体験報告会)	予習	インターンシップの体験過程を推測する。			
				復習	先輩からの学びを整理する。			
	第 8 回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。			
				復習	実習時の学びを振り返る。			
	第 9 回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。			
				復習	実習時の学びを振り返る。			
	第 10 回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。			
				復習	実習時の学びを振り返る。			
	第 11 回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。			
				復習	実習時の学びを振り返る。			
	第 12 回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。			
				復習	実習時の学びを振り返る。			
	第 13 回	内容	インターンシップ実習報告会準備	予習	報告会の内容を考える。			
				復習	報告会の発表内容を確認する。			
	第 14 回	内容	インターンシップ実習報告会②(受講生の発表)	予習	報告会の練習をする。			
				復習	報告会を振り返り学びを深める。			
	第 15 回	内容	インターンシップ実習報告会②(講評)	予習	報告会の練習をする。			
復習				報告会を振り返り学びを深める。				
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	インターンシップ実習と発表の講評をおこなう。							
成績評価	試験期間における定期試験：(○) しない 成績評価の方法：レポート・課題（20%）、作品・発表（20%）、実技（60%）							
教科書	特に指定しない。							
参考文献	授業時に必要に応じて随時紹介する。							
補足事項								

科 目 名	キャリアスタディ(企業人に学ぶ)		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	のなか ひろふみ 野中 博 史 他
ナンバリングコード	CAE3213		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()							
授 業 の 内 容	企業との連携により実施する授業です。現役で働いている企業の方を講師としてお招きし、企業の職種・業務の内容を中心にした説明を受ける授業と社会人としてのマナーなどを学ぶ授業の2本立てとなっています。授業を通じて、就業する際に必要な「業種・職種」を理解し、併せて企業の「人材採用方針」「社会人としてのマナー」等についても認識できるようにします。宿題として、毎回「気づきノート」の執筆を課すアクティブラーニングの授業です。							
到 達 目 標	1. 企業の職種、業種を理解することができる。 2. 企業の人材採用方針について理解することができる。 3. 社会人としてのマナーやTPOを知り、企業社会と働き方を認識することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2, 3, 4)							
授 業 計 画	第1回	内容	授業内容の説明。課題解決ノートの使い方。	予習	シラバスを読んでおくこと。			
				復習	授業内容を確認すること。			
	第2回	内容	産業界・企業研究① *産業界の説明は全て異業種になります。	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること。			
	第3回	内容	社会人としてのマナー①	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第4回	内容	産業・企業研究②	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第5回	内容	社会人としてのマナー②	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第6回	内容	産業界・企業研究③	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第7回	内容	社会人としてのマナー③	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第8回	内容	産業界・企業研究④	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第9回	内容	社会人としてのマナー④	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第10回	内容	産業界・企業研究⑤	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第11回	内容	社会人としてのマナー⑤	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第12回	内容	産業界・企業研究⑥	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第13回	内容	社会人としてのマナー⑥	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第14回	内容	産業界・企業研究⑦	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
第15回	内容	社会人としてのマナー⑦	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。				
			復習	授業での気づきノートに記入し確認すること				
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題（気づきノートの作成）などを通じて学習内容の理解増進を図ります。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する／ (○) しない 成績評価の方法： 筆記試験 (%)、レポート・課題 (90%) 作品・発表 (%)、実技 (%)、授業態度【課題提出状況】(10%)							
教科書	特にいません。							
参考文献	とくにありません。							

補足事項	毎回の授業内容を把握しているか否かを、授業終了後に提出する「課題レポート」の内容で判断します。成績評価の基準は「課題レポート」の内容によって決まります。毎回は試験のつもりで頑張ってください。
------	---